

啓明学園 初等学校・中学校・高等学校  
国際教育センター 電子メール通信

隣人（となりびと）E No. 99 - 4  
国際教育センターから皆様へ 1999.2.24

〔季節風〕**灯節**（元宵、上元節）

中国系やベトナム系の人たちは、世界各地で「中国正月」を祝います。様々な行事が、中国暦1月15日まで続き、2週間ほとんど働きません。宇宙を司る三官（天官・地官・水官）の内、天官の誕生日が1月15日（上元節）で、正月の終わりを飾ります。

正月には赤い提灯と爆竹、それに桃の花が付き物ですが、最終日に当る「灯節」には、各家の軒先にそれぞれ工夫を凝らした提灯を飾ります。

**国際交流関係の反省会** 2月15日（月）・18日（木）

「国際教育センター」として新生スタートした本年度ですが、まず国際交流関係の反省を初等学校（15日）と中学・高校（18日）とに分けて行いました。

初等学校は、横田基地イースト小学校との間で交換ホームステイ、体験授業、児童・教職員の相互訪問など、プログラムが充実できました。ただ、担当の先生に負担がかかり過ぎた点は課題で、センターの支援体制の限界（人手不足）も感じます。

中学・高校では、海外姉妹校等との相互訪問（調2校、受け3校）は充実していたと思いますが、新たに来日する交換留学生が全て取り止めとなったのは残念です。各国の経済的事情も現れているようです。

経団連やジェットロ等が海外から招いた教育関係者一行など、毎月のように視察・研修・交流団体の訪問が続き大変でしたが、それぞれに有意義な交流ができたようです。ご協力ありがとうございました。

**受験生の保護者の手紙から**

学芸大付属大泉にも合格したH君、M君のお母さんから手紙が届きましたので、ご紹介します。部分抜粋ですが、表現は原文通りです。

貴校の自由でのびのびした雰囲気、先生方の誠実で感じの良い対応など、主人共々感激いたしました。今の日本にも、偏差値にとらわれず真に人間性を重視する学校が存在することを、本当に嬉しく思いました。

私の好きな作家、故司馬遼太郎氏がおっしゃっていました。“これからの日本に必要なのは、エリート的な人間でもなく、秀才でもない。感じの良い人こそが求められるだろう”と。

先生方の温かく感じの良い対応に接しながら、この学校では、司馬氏の言われたような、これからの日本に必要な子供たちが、たくさん育ってゆくだらうことを実感いたしました。

( H・登志子 )

先日は、親身になって私どもの進学相談に応じて下さいまして、誠に有り難うございました。素晴らしい環境ときめ細かい温もりのある教育を、先生とのお話や生徒達の様子、そして美しい校舎から、よく伺い知ることができました。

受験の機会を与えて下さいまして、感謝致しております。子供も親も、貴校に強い好感を抱きました。先生の御親切な御指導、そして啓明学園の生徒への深い配慮が、この度の受験を通して、心にしみじみと伝わりました。重ね重ね御礼申し上げます。( M・敬子 )

**[ 国際生紹介 ] ラズン・カー・アウン君 ( 高 1 )**

ミャンマーから来日しました。1年間、波多野ファミリスクールで日本語の指導を受け、高校1年に入学してきた生徒です。ピアス、ネックレスなど装身具の趣味では、啓明学園で一二を争うお洒落好き。口数は少ないものの、明るく愉快的な青年です。人の心を大切に  
する面は、私たちも見習いたいものです。

**ひと口ニュース News・News・News・News・News・**

2月9日、**東京都初等学校協会「理科」の研究授業**。約50校の私立小学校が参加しました。

2月10日、**高等学校入学試験**。

2月11日、**建国記念の日 / 職員研修<初等>**。生憎の吹雪の中、横田基地のイースト小学校を訪問しました。

2月12日、**職員研修<中学・高校>**。中央ゼミナールの堰面(せきめん)先生を迎え、「小論文の書き方と指導法」についてお話を伺いました。 / 中野第三中学校で**国際理解教育研究大会**。

2月20日、**P T Aお父さんの会**。

2月22日、**進路懇談会<高校>**。既に合格が決まった3年生や昨年度の卒業生から、進路決定の過程や学習方法などについて体験談を聞きました。

-----  
啓明学園 国際教育センター

〒196-0002 東京都昭島市拝島町5 1 1 1 5

TEL:042-541-1003 FAX:042-546-5881

Home Page(URL) <http://www.keimei.ac.jp>

E-mail Address: [kubo@keimei.ac.jp](mailto:kubo@keimei.ac.jp)  
-----